

笑いが絶えない事務所！なぜ、ここまで？？が明らかに！！



南近畿会モデル事務所見学会 税理士法人マークス



植村祐三先生

平成22年9月に法人化しました。福田先生と法人化することで、IT体制を構築できる事務所になりました。今はRAT II やIPADも使おうとこれからの水面下にあるいろいろな問題に取り組んでいきます。変化に対応できれば、この業界は面白い！と思うのです。

笑いのある事務所でありたいですね。笑いがあるといい仕事ができるし、ミスは生まれません。ネガティブに言われると気分が落ちる。ポジティブなことを言うと、気分があがり、いい仕事になる。法人化して半年、顧客満足度アンケート調査を行いました。怖いですが、意外なニーズや意見をいただくことで、事務所の品質向上につながられるのではと思っています。

「我々の仕事には整理整頓が欠かせない！」

捨てる・区分する・置場を決める・元に戻す・チェックする・掃除する。こういうことが出来なければ、目に見えないデジタル化に侵されてしまいます。我々の事務所では、ペーパーレスに積極的に取り組んでいますが、本当に試行錯誤の繰り返し。整理整頓には所内の体制作りが大事です。

1. 事務所紹介
2. OMSの活用による決算業務の合理化
3. 継続MAS 4. FXの活用
5. 社員教育・組織作り・組織の透明化
6. ペーパーレス化
7. その他・質疑応答・事務所内見学



福田重実先生

OMS

- ・日報、スケジュールは全員利用
- ・法人化するときにデータ移行がスムーズに完了（他社だったら期中での移行は難しかったかもしれません）
- ・業務日報・受験簿作成機能で税務署の実態調査にも手早く対応（30分で終了）
- ・NASによる多重バックアップ体制（リスクの分散化）

FX2・継続MAS

- ・変動損益計算書の考え方。正しい損益分岐点を出せるのはこの考え方のみ。
- ・10期比較の帳表。10年前に遡って社長を説得できる。
- ・数字が嫌いな社長でも、目に見えるグラフを出せる。
- ・弥生と違うところは、FとSを連動できること。
- ・他社利用でも、エントリーで期末だけ入れると申告書をTPS1000でできる。二期比較で決算書には価値がある。こんなものが出るのは、ない。
- ・TKCシステムの優れているところは、いろいろところがドリルダウンできること。会社の戦略会議に参加したときも便利。

「予算なんかたてても…」と言われたときの切り返しトーク
「社長、ほしいものないですか？お子さんの教育費とかで出費の予定ないですか？」
 去年と同じで、は夢がない予算になってしまいます。また、売上を上げるのではなく、限界利益をいかにとればいいのかという話をしてください。そのためにシミュレーションは非常に有効的です。

事務所内にはこんな仕組みが...

コミュニケーション

- ・所内研修：各自が担当（週1回）
 - ・所内会議：議題をあげ、話し合い
 - ・朝礼の活用：ミスの共有
- 3分スピーチ
 （関与先の状態を見たり、話し方等を知る。自分の担当先だけだと見えないものでも、見えてくる。）

ハード環境



4. キャビネット式書庫

特徴④キャビネット式書庫→ペーパーレスとはいえ、必要なものは、必要です。随時整理しながら利用しています。

特徴①モバイルPC→

持ち運び可。何事も、その場で終わらせる方が、速くて確実です。

特徴②デュアルディスプレイ→例えば、決算業務時には、FX2とTPS1000を同時画面で見ることが出来ます。ペーパーレスにはデュアルディスプレイは欠かせません！

特徴③録音機能付き電話機→外から電話録音が聞けるので、メモ書きに失敗する人がいるのを防げます。声で急ぎかどうかがわかるのもメリット。ペーパーレスにも繋がります。



3. 録音機能付き電話機

2. デュアルディスプレイ

1. モバイルPC

原点にもどれ。つかみとれ未来を！